

(5) 養護教諭部会

会 長 田野 ももこ (中村南小学校)
副会長 有田 汐里 (東山小学校)
事務局 有田 汐里 (東山小学校)

1. 研究主題 「児童・生徒の実態に基づいた効果的なアプローチ方法の研究」

2. 研究経過

実施月日	研究のあらまし	会 場
令和5年 4月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 (研究体制とテーマの決定・連絡・確認事項) ・グループ研究 (研究体制・研究テーマ・計画等) 	四万十市立武道館
5月 9日(火)	四万十市教育研究会組織総会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体会(研究計画) 	中村中学校
6月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会(連絡・確認事項・その他) ・グループ研究 	防災センター
7月28日(金)	四万十市教育研 夏季研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体会(連絡・確認事項・その他) ・グループ研究 	各校リモート参加
8月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校100人以上グループ 研究検討会 	中村小学校
10月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校100人未満グループ 「性教育について」講演 講師：岡本先生 ・全体会(連絡・確認事項・その他) ・グループ研究 	防災センター
12月 5日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会(連絡・確認事項・その他) ・グループ研究 	中村南小学校(100人以上) 竹島小学校(100人未満) 中村西中学校(中学校)
12月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校100人以上グループ 研究検討会 	リモート
令和6年 1月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 ・中学校グループ研究発表 ・グループ研究 	四万十市立武道館
2月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校100人以上グループ 研究検討会 	リモート
3月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校2グループ研究発表 ・全体会(今年度の反省) ・来年度の研究体制について 	四万十市立武道館

3. 各グループの取組

(1) 小学校 100 人未満グループ

①研究テーマ「性と生の学習」

②研究内容

- ・講師による性教育について研修 講師：菊池産婦人科 岡本先生
- ・3グループ（二次性徴・命の学習・性に関する心の教育）による保健指導の実践交流



(2) 小学校 100 人以上グループ

①研究テーマ 「養護教諭の職務の充実を目指して ～ 保健行事について～」

②研究内容

- ・四万十市内 100 人以上校の健診提案文書（市内共通健診 6 項目）の統一を図り、健診マニュアル作成を行う。

(3) 中学校グループ

①研究テーマ 「中学生の基本的生活習慣について ～ 自己コントロール力をつけるために～」

②研究内容

- ・各校の共通する課題としてエナジードリンクとの付き合い方があげられた。研究テーマにもある「自己コントロール力」を軸とし、エナジードリンクに含まれるカフェインの過剰摂取の危険性など正しい知識を身に付けたいと、自分自身でよりよい行動を選択できるよう、掲示物の作成に取り組んだ。



4. 今年度の成果と課題 (○…成果 ●…課題)

(1) 小学校 100人未満グループ

- 講演では、四万十市の小中学生の産婦人科への受診理由など地域の状況を知ることができた。
- 養護教諭と産婦人科医の繋がりができた。
- グループウェアで教材の共有をすることができたのがよかった。
- 掲示物や指導案の元が作れたので、自分の学校の状況に合わせて活用することができた。
- 他の学校の保健指導の取り組みが聞けたことが勉強になった。
- 他の養護教諭の授業を見ることがなかったので、養護教諭同士の授業協議ができたのがよかった。
- 性教育はデリケートな問題なので、児童の家庭の状況などを考慮しながら慎重に進める必要性を感じた。

(2) 小学校 100人以上グループ

- 各校の健診実施案やほけんだよりを見合う中で、健診準備や対応の違いに気づき、円滑に健診を進めるための方法を検討することができた。
- 統一した実施計画案を作成することで、健康診断の対応が円滑かつ多忙な年度末から健康診断時期にかけての勤務時間の大幅な削減につながると感じた。また、近隣の学校の対応が統一されたことで、教職員や保護者対応にも役立つのではないかと感じた。
- 各校で保健室のレイアウトや対応の違いがあり、すべて統一したものにはならなかった。
- 4校共通の健康診断（眼科、耳鼻科、尿、心臓、歯科）のみ検討し、作成したため、その他の検診項目については各校で追記する必要がある。
- 来年度、作成したマニュアルを元に実施し、修正等加えながら、よりよいものにしていきたい。



(3) 中学校グループ

- 生徒だけでなく教職員も掲示物に興味を持ってくれ、エナジードリンクやカフェインの過剰摂取の危険性について啓発につながった。
- 掲示物を見ていた生徒のつぶやきから個別指導につなげることができたケースもあった。
- 癒しグッズは来室した生徒に好評であった。
- 興味・関心や知識を与えることはできても、その後の行動変容につなげることが難しい。指導方法を工夫しながら、繰り返し指導・啓発していくことが必要である。